

取組番号	担当課	具体的施策	取り組み内容	取り組み実績	評価	今後の課題	成果指標							
							指標名	実績 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値
重点目標1 あらゆる分野における女性の活躍推進														
【施策の方向】1. 政策・方針決定の場への参画拡大														
1	総務課	1. 各種審議会等委員への女性の登用拡大	審議会等への女性委員の積極的な登用と管理体制の徹底	・委嘱状等を作成する担当である人事厚生係が、起案の統一化、チェックシートの作成を実施し、全庁的な「荒尾市審議会等への女性の登用推進に関する規程」の周知徹底を図った。 ・女性委員等登用率を庁内（グループウェア）、庁外（HP）へ発信し、見える化を行った。 ・女性ネットワーク荒尾より各種審議会等の委員登用が行われた。 前年度から引き続き、女性登用率が増加した	B	依然として目標には達していない。 女性委員ゼロの委員会等や、充て職、女性が少ない分野の委員会等への女性委員の登用促進	市の審議会等の女性登用率	29.5%	30.7%					35.0%
2	総務課	1. 各種審議会等委員への女性の登用拡大	審議会等へ就任する女性の人材育成	・男女共同参画推進に関する市民団体コスモスの研修会（7月開催）において、男女共同参画に関する講義を行った。 ・6月に女性ネットワーク荒尾代表者会を実施。12月にはネットワーク全体研修を実施した。 ・広報あらかわ6月号にて女性人材バンクへの登録の案内を掲載。R5年度2人が新規登録となった。 ・R5年度、女性ネットワークあらかわ、女性人材バンクを通じて委員の推薦を行った（〇人）	B	女性ネットワーク・女性人材バンクの会員・登録者が減ってきているため、新たな人材発掘が課題である。	-	-	-	-	-	-	-	-
3	企業局	1. 各種審議会等委員への女性の登用拡大	審議会等への女性委員の積極的な登用と管理体制の徹底	令和5年2月に上下水道運営審議会を開催した。女性審議委員からの上下水道に関する発言もあり、今後も継続して女性の視点での意見を取り入れていく。	A	今後も継続して、女性の立場での意見も取り入れることができるように、審議会の場において発言の機会を確保するよう努める。	上下水道事業運営審議会女性登用率	37.5%	37.5%					44.4%
4	産業振興課	1. 各種審議会等委員への女性の登用拡大	審議会等への女性委員の積極的な登用と管理体制の徹底	荒尾市貸工場審査委員会：実施なし（必要時に委嘱） 荒尾市起業家支援センター入居審査会：5名（うち女性委員：1名） 荒尾市観光振興計画策定等委員会：24名（うち女性委員：7名）	B	起業家支援センターの審査委員については、R4をもって関係団体の一つが解散するため、人選する必要があるが、次年度からは、熊本県女性人材バンクからの推薦を予定しており、女性の起業家に力を入れるところである。 観光振興計画策定等委員会については、昨年度任期満了に伴う改選で29.2%と若干減少した。役職による就任が見受けられるため、人事異動による変動に際し女性委員推薦の検討を周知していく必要がある。	起業家支援センター入居審査会女性登用率	20.0%	20.0%					33.3%
5	総務課	2. 政治分野における女性の参画拡大	男女共同参画団体等と連携した政治分野に係る事業の実施	R5年度は男女共同参画団体等と連携した事業は実施できず。庁内では、10月にくまもと女性議員の会の研修会において、荒尾市女性職員シンクタンク会議との交流会が実施された。	D	政治分野の女性の参画拡大に向けて、団体等と連携しどのような事業が行えるか、市内の現状課題の把握が必要。	-	-	-	-	-	-	-	-
6	議会事務局	2. 政治分野における女性の参画拡大	市議会議員対象ハラスメント研修の実施	11月7日に、（株）ハートセラピー代表取締役の柳原里枝子氏を講師として招き、「政治分野におけるハラスメントの防止について」と題して研修会を開催した。	A	今回、外部からハラスメント専門講師を招き研修会を開催することができたが、講師選別に時間がかかり大変であった。今後は、全国市議会議長会から、動画での議員向けのハラスメント研修教材も提供されているので、その教材を使った研修等を考えていきたいと思う。	-	-	-	-	-	-	-	-
7	総務課	3. 行政分野における意思決定への女性の参画拡大	市役所女性職員の人材育成	女性職員の政策形成能力等のスキルアップを目的とした女性職員育成研修について、係長・参事級を対象に10月から全5回実施。9人参加で、意識向上や行動変容につなげることができた。	B	女性職員について、管理職登用を促進する必要がある一方で、昇任を希望しない者は少なくない。研修に参加しやすい業務体制づくり、働き方改革を通して、職員の意識改革が必要である。	市の管理職（課長以上職員）に占める女性の割合（市民病院を除く）	8.8%	8.8%					15.0%

取組番号	担当課	具体的施策	取り組み内容	取り組み実績	評価	今後の課題	成果指標								
							指標名	実績 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値	
8	総務課	3. 行政分野における意思決定への女性の参画拡大	市役所管理職研修の実施	管理職（イクボス）研修を10月より全5回実施。女性を含めた新任課長・課長補佐を対象として7人が受講した。併せて、過去のイクボス研修受講者23人中の希望者11人を対象に、後半2回の研修受講に参加させ、フォローアップ研修とした。	B	業務都合で全ての回には参加できなかった者もいたが、管理職やその候補者育成のために、管理職研修を効果的に活用できるよう充実させていく必要がある。	市の課長補佐・係長の職にある職員に占める女性の割合(市民病院を除く)	25.6%	26.3%						35.0%
9	総務課	3. 行政分野における意思決定への女性の参画拡大	能力と適正に応じた計画的な人材配置と研修の実施	・人事評価等を考慮しながら組織の最適化を図るため、適材適所とジョブローテーションの考えを取り入れた人員配置を目指した。 ・役職に応じた能力向上を目的として、階層別研修を実施した。	B	人事評価について令和5年7月システム運用開始に合わせた制度見直しにより、公平公正な評価基準設定等に取り組み、登用基準の明確化など人事制度の構築を図る必要がある。	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	総務課	4. 企業における意思決定への女性の参画拡大	市内事業所対象アンケートの実施と結果の公表（5年に1度）	令和2年度に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できず。	D	アンケート調査の実施時期について市内事業所の状況も踏まえながら検討中。	市内事業所における管理職(課長相当職以上)に占める女性の割合	30.8% (平成29年度)	-						33.0%
【施策の方向】2. 就業・雇用の分野における男女共同参画の推進															
11	総務課	5. 経営者層の意識改革の促進	中小企業を対象とした啓発事業の実施	市内企業においても、新型コロナウイルス感染症の影響が強いため、令和4年度は企業向けの啓発事業は行わないことを判断した。	D	中小企業関係者の現状やニーズを踏まえながら、参加したいと思える事業を産業振興課とも連携して考えていきたい	アンケートで「働き方改革への取り組みを行っている」と回答した事業所の割合	63.3% (令和元年度)	-						70.0%
12	産業振興課	5. 経営者層の意識改革の促進	中小企業を対象とした啓発事業の実施	企業が加盟する協議会等において、経営者層の意識改革を促進するため、女性就労支援や働く女性の健康に関する情報、女性リーダー養成講座の情報を提供した。	B	女性活躍のための情報を必要としている企業等に、より重点的に情報を紹介できるようにしたい。	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	総務課	5. 経営者層の意識改革の促進	熊本県男女共同参画事業者表彰の啓発推進	関係課への聞き取り、市ホームページにて募集を行ったが、期限までに申請はなかった。	C	関係課と連携しながら対象となりそうな事業者の発掘を行う。	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	総務課	6. 女性の能力開発と発揮への支援	働く女性のキャリア支援	2月25日に働く女性向け知識講座「女性のための働き続ける」応援セミナーを実施。9人が受講（定員20人）。3月11日に「キャリアコンサルティング」を実施。2人が受講（定員2人、申込4人）。両事業とも市内在住の特定社会保険労務士（女性）が講師を務める。	B	働く女性のニーズを考え、参加したいと思える内容、周知・開催方法を考えていきたい。	アンケートで「働くことに不安や困難がある」と答えた女性の割合	50.0%	100.0%						60.0%
15	総務課	6. 女性の能力開発と発揮への支援	女性職員シンクタンク会議の実施（市役所）	庁内からの意見照会1件 委員就任依頼1件（1人就任） メンバー提案の取組に対する意見交換	B	シンクタンク会議参加者の増加。 日常業務と並行しながらの会議へ参加がしやすい取組の検討。	-	-	-	-	-	-	-	-	-

取組番号	担当課	具体的施策	取り組み内容	取り組み実績	評価	今後の課題	成果指標									
							指標名	実績 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値		
16	総務課	6. 女性の能力開発と発揮への支援	ジョブローテーション制度の実施とスキルアップの支援 (市役所)	・令和4年4月人事異動について、人材育成基本方針に基づき、若手職員中心にジョブローテーションを行い、数年ごとに異なる分野での職務経験を積ませることを意識したものがなった。 ・女性のスキルアップについては、係長・参事級対象に、女性職員育成研修を10月から全5回で実施した。	A	ジョブローテーションを可能な限り意識しながらも、円滑な行政運営を踏まえた体制を構築する必要があるため、対象若手職員全員一律の異動は容易でない。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17	総務課	7. 女性の就労支援	女性就労支援事業の実施	2月15・16日にWord・Excelの基礎スキルを身につける「パソコン入門講座」を実施。9人(定員・申込10人)が受講した。 成果指標はR3年度が未実施であったため測定不能。 令和4年度受講者にはR5年6月頃に第一回調査を実施予定。	B	知識・スキルの取得だけでなく、実際の就労に繋がるような内容、支援等も働く女性の家とも連携し考えていきたい。	女性就労支援セミナー受講者の就労率	20.0%	調査未実施							70.0%
18	産業振興課	7. 女性の就労支援	広報やYouTubeを使った多様な人への企業情報の発信	「広報あらお」やYouTubeを使った企業情報を幅広く、誰でも見ることができるように発信した。男女問わず、企業で働く多くの人材にもスポットをあて、活躍する女性従業員や女性リーダーも紹介。働く女性のイメージの提供にも努めた。また、ポリテクセンター荒尾やハローワーク玉名と連携し、女性の就労に関する情報の周知・啓発を行った。	B	活躍する女性について、仕事はもちろん、ライフプランやプライベートとの両立についても、もう少し触れていくことも検討。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	産業振興課	7. 女性の就労支援	情報通信業の企業誘致による女性デジタル人材の就労推進	女性のデジタル人材が活躍でき、女性が働きやすい環境の企業への誘致活動を2社行った。	C	企業との関係性については現在も継続中であり、誘致に向けて引き続き取り組む必要がある。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	産業振興課	7. 女性の就労支援	「女性起業塾」の実施による起業支援	女性に特化した起業塾については、実施していないが、男性・女性に関わらず全ての起業したい人向けに起業塾を行った。	C	子育て中の女性や介護中の女性は対面での学びの場に参加できる時間をとることが難しいと思うため、オンライン環境をさらに整備していく必要がある。	女性起業者数	9人	13人							30人
21	農林水産課	8. 農林水産業における女性の主体的な参画、起業化の推進	農業委員会における女性委員の登用推進	県より、令和5年7月の農業委員の改選における女性委員の登用に関する要望書が提出された。	B	地域や家庭において女性が参加しやすいように配慮した環境づくりが必要である。	農業委員に占める女性の割合	10.0%	10.0%							14.0%
22	農林水産課	8. 農林水産業における女性の主体的な参画、起業化の推進	女性認定農業者の育成	補助事業や支援制度の周知、案内を行った。	C	女性就農希望者や経営主体を希望する女性の不足。	女性認定農業者数	37人	37人							55人
23	農林水産課	8. 農林水産業における女性の主体的な参画、起業化の推進	家族経営協定締結の促進	認定農業者の更新時や農業者年金加入時に制度内容の周知を行った。	B	制度の周知等により新規締結につながった。	家族経営協定締結農家戸数	27戸	29戸							33戸

取組番号	担当課	具体的施策	取り組み内容	取り組み実績	評価	今後の課題	成果指標							
							指標名	実績 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値
【施策の方向】3. 地域社会における女性の参画推進														
25	くらしいき課	9. 地域団体、地域活動における男女共同参画の推進	市民活動サポート助成事業の実施	今年度、市民活動サポートの申請が4件挙がっている。申請団体の中には構成員の半数が女性の団体もあり、女性の地域活動への参画が進んでいるように感じる。	B	今後、市民活動において女性の活躍を増やすため、荒尾市内で女性が活躍している取り組みをHPやSNS等で発信し、活躍の輪を広げていくことが必要。	-	-	-	-	-	-	-	-
26	環境保全課	9. 地域団体、地域活動における男女共同参画の推進	男女共同参画視点でのごみ減量の推進	10月、11月、2月、3月に、生ごみを堆肥化し、ごみ減量につなげるダンボールコンポスト講習会を開催し、14名(女性13名、男性1名)の参加があった。	B	堆肥として利用できることを周知し、男性の参加者を増やす。	ダンボールコンポスト講習会男性参加者の割合	R3年度 21%	R4年度 7%					30.0%
27	産業振興課	9. 地域団体、地域活動における男女共同参画の推進	地域活性化関連イベント実行委員会等への女性委員登用推進	実行委員：8名のうち1名 実施委員：10名のうち2名	C	現在、委員の委嘱は各役職に充てている状態であるため、人事異動により登用率が変動する。役職での委嘱ではない形にする必要がある。	あらお梨の花元気ウォーク実施委員会女性委員登用率	20.0%	20.0%					35.0%
28	総務課	10. 地域づくりやまちづくりリーダーの育成	熊本県男女共同参画社会づくり地域リーダー研修への推薦	令和4年度は本研修は実施されない方向と県より回答あり。	D	実施があれば派遣者を推薦していく	地域リーダー研修へ推薦した人数	71人	71人 (R4は0人)					84人
29	くらしいき課	10. 地域づくりやまちづくりリーダーの育成	いきいき人づくり事業や市民活動支援等を通じた人材育成	今年度のいきいき人づくり事業では、4件申請が挙がっており、そのうちの2件は女性が代表を務める団体からであった。女性がリーダーとなって活動される団体もみられる	B	今後、女性が先頭立って活動する人材を増やすため、市民活動に関する市の事業や女性が活躍している活動の情報発信強化に取り組み、女性活躍の推進を図る必要がある。	いきいき人づくり事業女性参加率	30.0%	30.0%					40.0%
30	くらしいき課	10. 地域づくりやまちづくりリーダーの育成	いきいき人づくり事業や市民活動支援等を通じた人材育成	同上	B	同上	市民活動支援講座女性参加率	22.0%	22.0%					40.0%